



羽合幼稚園レストランごっこ
いらっしゃいませ〜♪



あさひ保育所足湯体験 **あちっ!**

第二回定例会

助役の選任・

教育委員の任命に同意

議員定数は十八人に決定

第二回定例会は、十二月十四日から二十四日までの十一日間の会期で開催しました。

山本町長就任後の最初の議会であり湯梨浜町の当初予算十九会計など三十八議題が提案され全て原案のとおり可決しました。

一般質問には、十五人の議員が町長選挙公約での行政運営、合併協定に基づくまちづくり計画の今後の取り組みなどに白熱した質問戦を繰り広げました。

また、合併後空白となっていた助役の選任教育委員の任命、監査委員の選任、各財産区管理会委員の選任に同意しました。

選挙管理委員・補充員は議員の選挙により選出しました。

議員提出議題は、次の選挙から施行する議員定数を定める条例、議会議員政治倫理条例を制定し、旧町村が決議していた「核兵器廃絶・平和の町宣言」決議など五件の決議をまとめ湯梨浜町都市官言として決議しました。

委員長報告では、字名に関する調査特別委員会の調査が終了し「現行の表示方法がふさわしい在り方である」と意見を集約し、各常任委員会に付託されていた陳情については、それぞれ審査結果が報告されました。

一般質問



上野昭二議員

羽合漁港建設の全容は

質問 羽合漁港建設事業は、今年度で基本施設が完了し、来年度以降供用開始となる。

建設の経緯と、今後の管理はどう考えているか。

答弁 天神川流域下水道による放水協議で、地元区長、旧羽合町が漁港の建設について覚書を締結し、第八次整備計画で事業を実施してきた。議会での見直し議論もあり県と協議し平成十六年度で完了となる。

完了後は管理条例を制定し維持管理するが、整備の内容については、関係機関と十分に協議する。



馬の山から臨む羽合漁港



柿山重幸議員

コミュニティバス運行は

質問 合併の目玉的な存在であったコミュニティバス運行の取り組み状況と実施計画は。

答弁 住民の利便性、福祉、観光バスとして位置

付け十二月に委員会を開催し協議した。今後は、一月に認可申請、三月に試行運転、四月からの本格運行を目指す。有料のバスで中学生以上二百円、小学生百円で検討している。

住民参画の町づくりは

質問 住民参画の町づくりは具体的にどのような取り組みをされるか。

合併当初の不安、不満

をすばやくキャッチするための対策は。

答弁 住民一人ひとりが参画するまちづくりには、各種計画策定の段階から住民へ提示する。

イベントには身近な所から参加していただき、誰もが社会において対等の社会をつくる。職員もあいさつ運動での対応、疑問点等については地域振興課あるいは住民の声として対応したい。

I-T事業の基本姿勢は

質問 選挙公約では、I-T事業に触れてないが、今後の推進についての基本姿勢は。

答弁 事業を止めるのではなく、将来的に効率的な維持管理を含めた整備を検討する。まちづくり計画でもデジタル・光へ検討し十八年度から整備したい。



本庄公男議員

行政過疎とは

質問 選挙時の発言に行政過疎とあったが、地域だけの数の原理か、それともどんな現象を指すことか。

地域住民のさまざまな声が届けられるシステムの構築策は。

答弁 住民サービスの地域間格差のない町政を実施していくために、地域振興課、情報メディアの活用、住民懇談会を開催する。

自主的主体的な運営をするための合併であり、窓口業務、公共団体の連携を密にしていこう。

合併協議事項先送りは

質問 共に育む合併町の誕生において、合併協議会では、泊地域における住宅環境整備の都市計画区域に手を付けないで、先送りした理由は。

答弁 羽合・東郷地域は全区域が都市計画区域であるが、泊区域は決定していない。合併協議会において、新町で決定するとしてきた。

合併までの問題解決は

質問 合併寸前まで、旧羽合町保育所給食室増設が聞かれていたが、現状はどうなっているか。

答弁 八月に増改築が完成し、週二回の給食を実施している。今後については、保護者の意見を聴き検討する。

質問 東郷中学校で発生した校舎破壊の近況と対策は。

答弁 平成十四年から校舎、体育館、特別教室のガラス並びに玄関前のブロンズ像が壊された。その対策として、環境の整備、外灯設置、地域住民との連携、懇談会の開催、生徒には反社会性に負けない指導をしている。



浦木 靖議員

ＩＴ関連事業・ISO 町行政の基本姿勢は

質問 ⅠＴ事業は合併協議会で議決され住民の合意を得て、議会で同意した事項を選挙公約で見直すとは、重大な違反行為であり議会軽視ではないか。また、ISOについて

ても職員が熟知し応用できるまでには、ある程度の時間がかかるが、分庁方式であり、住民のニーズに応えるためにも必要である。一度決まった事業を首長ひとりの考えで変更し押し進められるか。

答弁 ⅠＴ事業は新町まちづくり事業を尊重して、十八年度から着手したい。ISOも旧羽合町で実施していたものを、役場組織が継続し拡大認証を得て実施する。

職員の活性化、仕事の効率化、地方公共団体での効果と議論はある。全職員の意識改革が必要でもある。新町まちづくり計画により進める。

東郷湖の水質と水質 悪化が及ぼす影響は

質問 東郷池、橋津川の水質悪化は以前から指摘してきたが、どのような改善措置をとってきたか。

東郷池に海水が入り、湖底に海水が溜まったのが水質の悪化の原因と聞くと、樋門操作、樋門の性格は。

答弁 県が毎年塩分濃度を測定している。下水道事業の推進、不法投棄物の撤去、メタ力の会、県の衛生研究所など官民が一体となり研究する。

県のデータによると、各測定地点の塩分濃度は通常の3倍であり、海水の導入方に伴う塩分濃度の上昇などが考えられる。



浜中武仁議員

平成十七年度の予算 編成方針は

樋門の操作は、町が県から委託を受け操作管理を実施している。水門は、治水上の観点から洪水防止、海水の侵入防止目的で設置されている。

質問 平成十六年度は、国の三位一体の改革の影響で、県内の各町村で予算が組めないということが起こりました。地方自治法の基本原則は住民の福祉増進に最小の経費で最大の効果を上げることです。劇的な増収が見込めない中であるが、合併後のまちづくりにおいて、緊急課題や町の未来を据えた予算はどう考えるか。

答弁 平成十六年度は地方交付税の段階減、保育所補助金の廃止に対し地域再生債で予算を計上した。最小の経費で最大の効果を現すために、事業の必要性、緊急性など取捨選択し事務事業を見直す。第一次総合計画をつくり、まちづくり計画により均衡ある地域づくり、公平公正のまちづくりのため町民の意見を聴きながら編成する。



橋津 潮止せき

職員の意識改革と職員育成は

質問 地方公共団体は、住民のための施策を行うという特性から、競争という原理が生まれない。このことが、職場の空気を沈滞させ、職員の自主性、自発的な努力を促す対策が必要である。

自治体が自ら考え、自ら行う地域づくり、地域主義が協調され住民のために何をなすべきか、統一した目標を持って職員の意識改革をする必要がある。また、若手職員の育成に向けた方策は。

答弁 意識改革の重要性については、常に話をしている、職員が評価的に上がっている。全体の奉仕者として専念すべきであり、資質向上と若手職員の育成に、他町村との交流も含め研修を実施する。

勤務成績の評定とその制度の導入は

質問 やっても同じからやれば違うという行政組織の変革を住民は期待している。これからの地方行政を担う人材育成と、職員の能力を最大限引き出す勤務評定制度の構築が重要である。明確な基準に基づき能力や実績を正しく反映させる制度の導入が必要であるが、どのように考えておられるか。

答弁 勤務評定は旧町で実施している。新町においても合併項目で調整してきた事項、厳しい状況は避けておれないので、組合とも協議を進めるが、評定内容が現行にあうか検討する。



谷岡一男議員

防災対策は

質問 災害は忘れた頃に來るといわれる、今年も台風が何回も上陸し県下にも相当の被害が発生し、十月には新潟中越地震と多くの人が犠牲になっている。湯梨浜町の防災計画策定は急務と思うが。

また、避難訓練の実施と災害時における情報周知は万全なのか。

答弁 初動体制は、旧町村を参考にしている。地域防災計画を策定するため、本年度基礎調査、十七年度に計画の素案をつくり、防災会議等を経て早いうちに作成する。避難訓練もいざという場合の備えとして、場所、ルートを早急に計画して

実施する。

災害時の連絡体制は、防災無線が一斉放送できるが、機能に違いがある。まちづくり計画によりデジタル化を図り、障害者にも対応できるシステムを構築する。

学校教育と児童の安全対策は

質問 湯梨浜町には小学校が六校、中学校が二校ある、北溟中においていじめがあると聞かすが状況はどうか。

湯梨浜町には、海、湖、山、川がある。体験学習の取り組み状況は。

近年下校時の小学生が、連れさらわれる事件が発生している。下校中の児童を守る安全対策は。

答弁 北溟中学校で一件発生したが、相手にいやな思いをさせないように関係者で話し合いをした。体験学習は、福祉、勤

労、環境体験をデイサービス、母来寮で実施し、東郷中学校では、地元芸能、職場体験、北溟中学校では梨づくり、海岸の清掃など地元と共に総合学習に取り組んでいる。

下校時の安全対策については、中部においても下校時写真を撮ったり声をかける事件があり、防犯ベルを持たせ、警察と地域が連携しパトロールをしている。児童にも繰り返し指導を実施している。

磯评分議地の売却状況は

質問 宅地造成が完成して何年か経過しているが、建物の姿が見えない。現状はどのようになっているか。

答弁 二十二区画中十一区画を売り出しているが売れない。一部地権者と話がまとまらず公判中である。結審後に協議していきたい。



自営消防団一斉放水



地元でとれた農産物を買いもとめる（夢マート）



垣内幸博議員

中部町村会の活動は

質問 中部町村会は地方自治の本旨、目的にたらし設置されている会であるが、また、活動状況は

どうなっているか。

答弁 各町村の事務が円滑に運営し、地方自治が発展するため任意的に設置されている。予算は、構成団体の人口割りで負担し運営して、町間の意思疎通をはかり、助役会、担当課長会、郡民体育大会などの事業を実施している。



平岡将光議員

公文書の管理状況は

質問 旧町村では昭和の大合併時に文書が廃棄処分されてきた。合併を期に、公文書はどのように保存されるか。

答弁 文書管理規程により保存をされている。昭和の合併時は、収蔵スペースの関係もあり保存されていないが、各庁舎での管理も含め保存に努力している。

農地の荒廃が毎年増加傾向にある解消策は

質問 いま農家にとって、農地があること自体つらい問題にもなっている。本町は二十世紀梨条

例を制定し、町の貴重な財産として取り組んできた。集団営農、法人化への取り組みで、地域農業の活性化、後継者育成を図るなど今後の農業施策はどのように進められるか。

答弁 農家の高齢化も進み遊休農地に対し、JA中央でも対応されている。農業委員会とも共に進め、小中学校他関係機関とも協議するが、家庭の在り方も重要である。効率的かつ安定的な農業経営、地域の実情に応じた集団営農、梨、苺、メロンと意欲ある農家、づくりを地域で話し合いたい。



浜辺 力議員

人件費の抑制策は

質問 合併による行財政改革もこれからが正念場、特別職は減数によりすぐに効果が現れるが、一般職は法により身分が守られる。民間ならば、いない人、役に立たない人から順番に退職勧告とか希望退職を募る。

新町のまちづくり計画にある健全な財政運営をおこなうために、歳出の中で一番大きなウエートを占める人件費の抑制策は。

答弁 健全財政を行う上で、人件費の抑制は重要課題である。退職勧奨は経費も増加するので行わず、空白の年齢層をつくらないうちに、退職者数に対し採用は二分の一と

する。他の自治体とも交流し、全体の奉仕者としてやる気のある職場をつくりたい。

旧三町村継続事業・重点検討項目は

質問 合併前に旧町村で計画した事業、検討課題となった事業を新町に引き継いでいるが、全面的に尊重し、継続されるのか。泊地域においては、過疎地域の指定を受け、過疎自立促進計画に基づき事業を展開してきた。十七年度から五カ年間の施策の展開は。

若者の定住対策として、旧泊村が取り組んできた第二期分譲宅地造成計画の一時休止問題、泊小学校と長清寺との間の山林・原野を買収して、平成十五年度末には宅地分譲をする計画であった。多額な経費を投入した事業をどのように取り扱うか。



落雷被害にあった風車

質問 二十数回の合併協議会を経て、さらに協議会はその都度報告協議して、合併協定書が出来上がった。協議会の会長として新町のまちづくり計画を策定されてこられたが、選挙時には、行財政

答弁 合併協議会で十分確認をしており尊重して議会とも相談しながら進める。過疎地域については、十七年度から二十一年度までの計画を策定中であり、各課と財政が協議し三月議会には提案する。

旧泊村の造成分譲宅地は、長清寺線用地の造成と併せ改良予定の一部に不手際があり事業が中断し湯梨浜町に引き継がれた。寺の協力を得て事業を進めるため、理解を求めるために寺に出向いて協力を得たい。

災害時における対応は

質問 台風二十三号により家屋の浸水も発生し地区の公民館へ避難された世帯もあった。また、風力発電の施設に落雷があったときは、約三時間の停電、電気復旧後においてもケーブルテレビの停波と、情報がないまま暗い中での食事、一人暮らしでの不安な時間をすごした住民が多かったが、緊急時における対応があまりにも鈍すぎるのではないか。

町民が不安を感じさせない安全対策は、緊急時の対応はどう考えるか。

答弁 町は初動対応マニュアルに基づき対応し早期の調査対応をしたが、指摘事項、反省点を含め防止計画を作成し対応する。防災無線についてもシステムをデジタル化計画している。



光井哲治議員

選挙公約とまちづくり計画は

改革について、巨費を必要としている点から、IT、ISO事業の見直しを示唆された。

合併協定書を策定しながらはなはだ疑問に感じる、見直しの内容は。

答弁 新町まちづくり計画は、尊重し基本と考えている。事業にはいろいろな手法があり、IT関連の技術は日々進歩を遂げており、経済的なことも含め十分な検討が必要だと思っている。ISOは、旧羽合町で実施されており、住民サービス、役場組織の継続的改善に向け拡大認証を早急に進めていくが、職員の意識改革、研修を重ねていきたい。



質問 ISOは中止ではない。職員一人ひとりが意識改革をして、能率アップ、職場の活性化に向

また、IT推進計画は、全町内に光ケーブルを張り巡らし、全家庭の通信サービスを指すとして、二十三億円の巨費を投入されるが、計画を中止し生活関連事業を優先させるべきと考えるが。

答弁 ISOは中止ではない。職員一人ひとりが意識改革をして、能率アップ、職場の活性化に向

町長選挙で町民に約束した公約は



竹中壽健議員

質問 ISOは旧羽合町で実施されているが、年間七百万円近くの費用を投入している。本来の目的である行政サービスの成果には疑問があり、見直しではなく中止してはどうか。

けて研修を実施する。企業であれば経営に現れるが、自治体では行政サービス手法の一つであり住民サービスに向けて続ける。

IT事業は、デジタル化と光ケーブルが二重投資とならないように、一年遅れてでも検討し、光ケーブルに変えたい。今ある施設を早急に検討し方針が決定したい相談したい。

保育所給食について

質問 旧羽合町地域の保育所給食は、給食センター方式で給食を搬入している。子どもたちが一日の大半を過ごす保育所で食は大きな比重を占めている。

県における行政監督でも再三指摘を受けており、自所方式での給食を実施すべきであると考えている。

答弁 子どもが生活の環



あさひ保育所 お正月遊び（かるた）

老人保健高額医療費の償還払いは

境を重ねてきている幼児期の食育は重要であるが、給食方式は特区でも認められており問題は無い。搬入させる給食も、他の施設と違いはないが、今後地域の意見を聴き格差のない保育をするため、保護者の意見も十分に聴きたい。

質問 高額医療費の限度額を超えて支払われた医療費、通院で月一万二千元、入院で月四万二千元を超えた医療費は、申請し払い戻される。旧泊村、旧東郷町で払い戻されないものがあるが。

答弁 申請に基づき払い戻すが、申請は初回のみとして軽減を図る。未払い者には電話、面会により取り組む。

市町村合併



秋田和幸議員

質問 市町村合併は、行財政改革である、小さな町が無駄を省き大きな効果を上げるため、行財政改革の指標と基本方針は。また、合併目的共有化の基本的な考え方は。

答弁 住民のための行政福祉増進に向かい、最小の経費で最大の効果を上げるために、組織体制の見直し、慣習にとらわれず民間の意識でコストの見直し、市民との合意形成、情報公開、職員意識改革、民間活力活用により、住んで良かったと言われるまちづくりに取り組めます。

合併の意義としては、各自治体が責任を持った

新町まちづくり計画の事業方針は

政策立案能力が求められる、ある程度の人口、専門化した自治体間競争に対応するため、まちづくり計画、総合計画で取り組む。

質問 新町まちづくり計画の主要課題である、だれもがITを利用できるまち、環境に配慮したやさしいまち、住民一人ひとりが参画し協働してつくるまちの基本計画実現のため、今後の行政運営方針は。

答弁 住民参画により策定された新町まちづくり計画で、湯梨浜町の総合計画をつくり新町の方向性を示す。

事業の計画は、職員全体がその気にならなければ物事は進まない、総合計画の中で財政計画、国の施策も見えない中、限

湯梨浜町の町章・町の花・町の木・標語は



浦川幸一議員

られた財源で優先順位を付けて実施する。

質問 湯梨浜町の公的な催しになくてはならないものだと思うが、町として検討中なのか、町民にアンケートを実施するのか。

答弁 合併協議会では、新町で決定するとした。町章は公募選定委員会を設置し十七年の早期に決定したい。公募はケーブルテレビ、ホームページで募集する。

花・木・標語も意見を聴きながら早いうちに取り組む。

まちづくり計画への取り組み状況は

質問 基本計画の中で、地域特性を活かした個性豊かな産業の振興として観光・レクリエーションの振興、農林水産業の育成、商工業の育成についてはどう取り組むのか。

答弁 山、大地、湖の自然を大切に観光地を結び、タイアップして農林業の果物王国、地域の特産・産地の形成をはかる水をキーワードとした商工業、時代のニーズにあった商工業育成に新しい融資の制度を創設、特産品の開発、温泉熱を利用した施設に支援援助をする。

選挙公約の取り組みは

質問 介護福祉は在宅介護が基本ですが、地域福祉の考えは。

少子化対策においては、子育てと教育の不安解決が最重要です、教育の自立を目指す施策は。

基幹産業の農業、漁業、観光産業の振興から地産地消の促進策は。

老若男女にかかわらず格差のないバランスの取れた地域づくり策は。

答弁 自分のふるさとで生涯と願う方に、行政地域の団体、特に社協の役割は重要である。

子育ては、地域の実情にあった教育、地域・学校・各種機関による週末支援事業など、子どもたちが湯梨浜町を愛するための次世代育成支援の計画を策定する。

産業においては、東郷池、温泉、豊かな自然はふるさとの財産である。安心安全な農産物、給食、家庭での消費が地域の食農を変える。

バランスの取れたまちづくりとは、イベントなどに誰もが参加し、地域

の特性を生かし、住民自らが行動し、公正公平のまちづくりをする。



酒井幸雄議員

安心して暮らせる湯梨浜町にするためには

質問 安心して子育てができる地域、障害があっても安心して参加できる

社会（学校）、安心して療養生活を送れるなど、ノーマライゼーションの理念とソーシャル・インクルージョンの視点に立った社会福祉づくりは。

平成十二年に制定された社会福祉法を受けて策定される地域福祉計画づくりが遅れてい



足湯（湯梨浜めぐり）

るが、今後の計画は。

町財政が厳しい中で町内における支援が必要な人に支援を充実、福祉活動をとおして地域を活性化させる手法として地域通貨がある、検討すべきと思うが。

答弁 社会情勢が厳しい状況にあつて、福祉も多様化しているが、子どもから大人まで共に支え合うノーマライゼーションが重要であり、社会福祉協議会とも一緒に取り組む。

地域福祉計画策定に向

けプロジェクトチーム、事務局体制を確立し十七年度着手する。

地域通貨については、自分ができること、元気のうちに果たした役目を地域で支払い支えあう地域コミュニティづくりに有効な制度であり、導入についても十分研究したい。



石井輝美議員

行政運営の基本姿勢は

質問 町長は、合併に対する住民の不安や不満を解決する行政が重要と発言されており、合併の大原則として、サービスは良い方に、負担は低い方に調整すると公約しながら、一部事業においては、サービスは悪い方に、負

担は高い方に調整され、合併に伴い痛みを伴うものがある。選挙公約からして放置し得ない行政課題である。

担は高い方に調整され、合併に伴い痛みを伴うものがある。選挙公約からして放置し得ない行政課題である。

地域通貨については、自分ができること、元気のうちに果たした役目を地域で支払い支えあう地域コミュニティづくりに有効な制度であり、導入についても十分研究したい。

答弁 地域の特性、三町村の整合性により多少の負担増もある。合併協議における調整を変えるかは、よい方向であれば議会とも協議していくことになる。

子育て支援の拡充策は

質問 乳幼児の通院医療費助成は、入院した場合と同様に就学前まで広げ、一部負担なしにして欲しい願いが強い。子育て支援の拡充に医療費助成も含まれているか。

答弁 子どもたちが一日の生活を楽しく過ごし、地域に根ざした支援を、家庭、学校、地域が一緒に育てていく。医療費は子育て支援とは別に

考える。

行政過疎を起さないまちづくりは

質問 選挙公約に行政過疎を起さないまちづくりがあるが、具体的には、選挙の期日前投票を羽合庁舎のみ実施、乳幼児健康診査などをアロハホールに統合して実施することは、泊・東郷地区の住民は不便である、これは行政過疎ではないか。

答弁 行政過疎とは、較差のない行政サービスをすることである。期日前投票を複数の投票所で実施することは、二重投票など管理上問題がある。

保健事業はそれぞれの地区に出向き実施している。乳幼児の健康診査は、親が顔を合わせることに

より情報交換の場として有意義であり一ヶ所で実施している。

住所表示は現行の

表示方法がふさわしい

字名に関する調査特別委員会報告

字名の取扱については、合併協議会において、旧羽合町から羽合町全域の大字名に「はわい」を冠

したい意向が示されたが、合併時は三町村それぞれそのままとして、湯梨浜町が誕生しました。

この問題は、議員の在任特例期間中に調整することが提案されており、新町発足時の十月七日、第一回臨時会で字名に関する調査特別委員会を設置し、特別委員会にて検討してきました。

委員会において、湯梨浜町が一ヶ月経過したなかで、町民が新町の住所表示をどのように考えておられるかを、アンケートを実施し町民の意見も参考に聞くこととし、無作為で抽出した全町民の

五・八五%にあたる九百三十三人に調査を依頼し、五百四件（五十四%）の回答を頂きました。

その結果は、「まだ慣れないが、特に違和感もなく、いずれなじむと思う。」「字数が増え画数も多く、めんどうに感じているが仕方が無いと思う。」「大字名には旧町村名を残す必要がない。」

と回答された方が多くあり合併の諸問題に、「ご理解を頂いていると感じました。」

意見の中には、羽合地域で国際交流を進められていた米国ハワイ、日本の羽合、東郷梨など町づくり、地域ブランド名などの想い、慣れ親しんだ町名への愛着について、多くの「ご意見をいただき

ました。これらについては、これからの町づくりにおいて、あらゆる施策で住民の負担に配慮することが重要であり、議会としても課題と位置付け、今後の議会活動として取り組むべきである。

特別委員会は、アンケートも参考にし検討した結果、湯梨浜町における字名は、「現行の表示方法がふさわしい在り方である」と特別委員会の結論としました。

アンケート調査に、ご協力をいただき、ありがとうございました。



アンケート調査に、ご協力をいただき、ありがとうございました。

アンケート集計結果

項目	全体	羽合地域	泊地域	東郷地域
現在の住所表示は				
①親しみやすい、使いやすい	10%	8%	16%	11%
②まだ慣れないが、違和感もなく、いずれなじむ	43%	34%	50%	53%
③字数が増え画数も多く面倒だが仕方ない	25%	25%	23%	25%
②・③の回答された方のうち				
・大字名に旧町村名を残してほしかった	23%	38%	7%	15%
・大字名に旧町村名を残す必要はない	61%	45%	63%	72%
④なにか違和感があり、親しみがわかない	5%	5%	4%	4%
⑤大字名に是非旧町村名をつけたい	14%	27%	5%	5%
④・⑤の回答をされた方のうち				
・どうしても旧町村名を残したい	61%	67%	43%	53%

湯梨浜町の議員定数は18人 平成16年度湯梨浜町各会計予算

助役の選任・教育委員の任命に同意ほか全議案を可決

条例・規約・契約

- ☆町村等の非常勤職員の高齢災害補償等に関する認定委員会及び審査会の共同設置に関する規約の変更
- ☆鳥取県町村職員退職手当組合規約の変更
- ☆鳥取県市町村消防災害補償組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更
- ☆湯梨浜町総合計画審議会条例の制定
(第一次総合計画を策定するため委員構成等を定めた)
- ☆廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一部改正
(し尿処理手数料を定めた)
- ☆飲料水供給事業設置及び管理に関する条例の一部改正
(給水区域である旧青谷町が合併により鳥取市と変更した)

- ☆工事請負契約の変更
(羽合小学校及び羽合漁港にかかる工事請負変更)

- ☆過疎と見なされる区域にかかる過疎地域自立促進計画
(旧泊村で計画されていた事業にかかる計画)

- ☆収入役を置かない条例制定
(収入役の事務を助役が兼掌)

議員提出条例

- ☆議会議員の定数を定める条例制定
(次の一般選挙から、議員定数を十八人と定めた)
- ☆議会議員政治倫理条例の制定
(議員は町民全体の奉仕者として、自己の地位による影響力を不正に行使し、自己の利益を図ることなく、町民

の信任に応え、清浄で公正に開かれた民主的な町政を確立する)

人事

- ☆助役
宮脇正道 (泊)
- ☆教育委員会委員
西山 登 (上浅津)
前田三郎 (小鹿谷)
土井清澄 (下浅津)
松岡 恵 (長和田)
手石京子 (園)
- ☆監査委員
山名哲彌 (田後)
前田勝美 (門田)
- ☆財産区管理委員
・長瀬財産区
朝倉則夫 (田後)
小谷 要 (久留)
河口信幸 (水下)
高田俊秀 (長瀬)
中川正典 (長瀬)
濱中米藏 (長瀬)
宮本哲郎 (久留)

・橋津財産区

- 上村昭明 (橋津)
- 秋村常治 (橋津)
- 國田修二郎 (橋津)
- 市川 収 (橋津)
- 加藤頼之 (橋津)
- 井手尾弘美 (上橋津)
- 増井満明 (赤池)

・花見財産区

- 前田信雄 (松崎)
- 有澤弘毅 (中興寺)
- 伊澤寛治 (旭)
- 大谷 薫 (長和田)
- 岡本憲明 (長江)
- 清水 武 (佐美)
- 津村昭正 (羽衣石)
- 山田 篤 (野花)

・宇野財産区

- 西村義信 (宇野)
- 伊藤博次 (宇野)
- 尾坂克文 (宇野)
- 尾坂壽秋 (宇野)
- 坂本昭博 (宇野)
- 竹中英己 (宇野)
- 伊藤久夫 (宇野)

☆選挙管理委員・補充員

- ・選挙管理委員
秋久正昭 (久留)
市橋正敏 (下浅津)
浦田昌則 (園)
本庄正志 (松崎)
- ・補充員
小林道子 (泊)
土海政信 (埴見)
牧田千里 (久留)
津村篤子 (筒地)

・舎人財産区

- 寺地寛美 (宮内)
- 山田國夫 (藤津)
- 高塚敏勝 (藤津)
- 新名芳昭 (白石)
- 伊藤一雄 (方地)
- 酒井民男 (漆原)
- 下田幸男 (北福)

・東郷財産区

- 中井幸人 (国信)
- 河原秀雄 (別所)
- 藤井 勇 (川上)

※町長提出議案、議員提出議案は、いずれも原案どおり可決・同意されました。

都市宣言決議

「非核平和の町」「人権尊重の町」「暴力追放の町」「暴走族追放の町」「シートベルト着用推進の町」を宣言

町は、日本国憲法、国連決議を基調に人類普遍の原則である自由・平等・幸福・世界が恒久平和である社会の構築及び明るく住みよい町づくり、町民一人ひとりが参画することを決議した。



羽合庁舎前

麻畑捨石堆積場



ウラン残土町内保管に反対決議

核燃料サイクル開発機構が、方面地区に保管されているウラン残土を、同じ町内の川上地区内での保管を表明されたことに、議会としては、町民の不安、不信感を拡大するものであるとして、ウラン残土は、人形峠環境技術センターで処理されるように求め、川上地区内での保管は絶対に許すことはできない。町内保管絶対反対を決議した。

陳情審査

《総務常任委員会》

☆自衛隊をイラクから撤退させ、憲法九条を守ることを要求する陳情
◎審査結果 不採択

☆消費税の大増税及び定率減税縮小に反対する陳情
◎審査結果 趣旨採択

☆「三位一体改革」に関する意見書採択を求める陳情
◎審査結果 趣旨採択

☆郵政民営化に反対し、郵政事業における国民へのサービス向上とユニバーサルサービスの確保に関する意見書を求める陳情
◎審査結果 趣旨採択

◎審査結果 趣旨採択

《民生常任委員会》

☆安心してかかれる医療保障の充実改善を求める陳情
◎審査結果 採択

る意見書採択についての陳情
◎審査結果 不採択

☆利用者負担の大幅増など介護保険の改善を求める国への意見書提出についての陳情
◎審査結果 不採択

☆「改革」年金法の実施を中止し、最低保障年金制度の実現を求める陳情
◎審査結果 不採択

☆保育・学童保育・子育て支援施策の拡充と予算の大幅増額を求める意見書採択を求める陳情
◎審査結果 不採択

《教育産業常任委員会》
☆WTO・FTA交渉に関する陳情
◎審査結果 採択

☆「食料・農業・農村基本計画」見直しに関する陳情
◎審査結果 採択

意見書提出

WTO・FTA交渉に関する意見書及び「食料・農業・農村基本計画」の見直しに関する意見書は、議員提出議案として提出され、全会一致で可決されました。意見書は、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、経済産業大臣にそれぞれ提出しました。

北方領土の早期返還の実現に関する決議

日本固有の領土である、歯舞群島、色丹島、国後島及び択捉島の北方四島の返還を決議。

小学校建設（東郷小学校）



小学校建設（羽合小学校）

少子化と併せて校舎の老朽化による小学校統合建設事業が、町内二ヶ所で進められております。東郷小学校は外観がほぼ出来上がり残り少ない工期で完成を待ちわびる状況であり、羽合小学校は基礎工事が着々と進められています。

二十一世紀を担う子どもたちの教育施設、地域のふれ合いの施設として期待と希望を寄せる施設である。

今後の課題として、跡地の利用も大きな問題である。東郷小学校は、私立の中高一貫教育の施設として活用されるが、他校は未決定である。

教育環境の施設が放置され、青少年にとって悪い施設とならないように今後の使途決定が急務である。



パイプ椅子での議会風景

編集後記

新町の議会風景がマスコミで紹介されました。湯梨浜町の議員定員は十二月議会、次の一般選挙から十八人となりましたが、現在は合併特例法による議員の在任特例を適用して、三十六人が定数です。

本会議は、中央公民館羽合分館の講堂で開催しています。机の準備から放送施設の準備に二日間を要します。

一般質問も、十五人の議員が湯梨浜町の一般事務について質問され、二日間の日程となりました。

既にケーブルテレビにより放映されていますので、概要のみ掲載しました。

次の定例会は、三月に開催します。傍聴は誰でも自由にできます。お待ちしております。